

(氏名) 阿久津 由佳	(学部) 経済学部
1 重要事項 (1) 教育 現行の授業の改善に向けての取り組みを継続的に行っている。2023 年度は、1、2 年生の Business English の必修科目 3 種類と選択科目 1 種類を担当した。特に学生が能動的に学習できる英語授業の形態を目指し、授業中の自主的な発言や発表にポイントを付ける、グループ活動について内容の自由度を上げる、などの工夫をしている。また、テキストと実際の世界のリンクを作る（Internet などを利用して実際の利用例を見せる）ことを意識し、科目としてではなくスキルとしての英語の必要性を感じさせることに力を入れている。加えて、授業内での学習において TOEIC や TOEFL をはじめとする外部試験についての意識を高めることで、英語学習の意欲をわかりやすく高めるとともに、社会に必要とされる英語力の獲得を強調した指導を実施し、必修英語という動機づけが低くなりがちな科目に目的意識を持って取り組んでもらえるようにしている。 授業外では、希望者を対象に個別の英語学習相談や留学相談を実施し、各自のレベルや適性、目標に合わせた学習、留学計画作成のアドバイス等を行うことも継続している。資格試験の学習や海外留学に興味がある学生がまた増えてきており、2023 年度は計 13 回のセッションを行った。 また、非常勤講師 1 名の突然の出講辞退に対応し、前期に Business English I advanced レベルのクラスの代講を行った。学期が始まってからの急な対応となり、教科書も特殊でこれまで担当したことがないものだったため、非常に時間をかけて準備し実施した。 (2) 英語カリキュラムの円滑な実施のための対応 カリキュラムの適正な実施のために非常勤講師の先生方への説明や調整などを行った。 ① レベルコーディネーターを務める科目のうちの一つのテキストを変更することになり、多数のテキストについて検討し、選定した。また、その新テキストについて、担当レベルでの利用方法や授業実施方法等について検討した。 ② 必修科目についての指針、内容など詳細の決定及び説明 同一科目・レベル内での同質な授業の質の確保をめざして、内容やルールについて検討後、それを文書化し、zoom 会議および対面で詳細に説明を行った。 ③ 多読プログラム（Xreading）の管理と遂行 Extensive Reading Program の手段として 2022 年度から採用した Xreading の運用担当者の一人として、課題や内容等詳細を検討後、教員および学生に対しての資料の改訂および説明等を行った。また、実施の結果や問題点について、全担当教員にクラスごとにアンケートを実施し、調査とそのまとめを行った。2023 年度に実施した説明会、作成した資料、対応等は以下の通り。 ・ 本学の使用環境や目的に合わせて作成した①学生向けマニュアル、②教員向け概要説明書および③教員用マニュアルを 2023 年用に改訂し配布 ・ 教員と学生からの質問等に対応 ・ 実施した全クラス（前後期計 180 クラス分）のアンケート作成、回収、および結果のまとめを作成した。 ④ 科目レベル別英語担当者会議の開催	

授業の振り返りと 2024 年度の授業に向けての説明のため、後期終了後にレベルコーディネーターを務める科目について、個別の担当者会議を zoom にて新規担当者対象 1 回、各レベル担当者 2 回の計 3 回開催した。会議前にあらかじめ該当非常勤講師に対してアンケートを作成、実施して、カリキュラムの実施状況と問題点などを集約し、会議当日には、アンケート結果の共有と各科目に関する内容や課題、来年度の変更点や注意点などについて説明した。

⑤ コースリーダー・レベルコーディネータ業務の遂行

Business English III/IV のコースリーダー兼 advanced level のレベルコーディネーター、Business English I/II (Pre-Intermediate) と General English III/IV(Upper Intermediate)のレベルコーディネーターとして、カリキュラムに関して非常勤講師の先生方に個別に内容等の説明を実施し質問に対応した。

(3) 研究

継続研究としては、語用論的要素をどのように学校英語教育に取り入れるかについての研究を進めている。新たにイマージョン教育と語用論的能力の関係についてと、継続してオンライン学習の動機づけについての研究について少しずつデータを収集している。2023 年 3 月には、2024 TESOL International Convention に参加し、特に AI を利用した語学学習についての研究に知見を深めた。

2 その他の事項

① 英語部会と部会内の担当業務

メンバーとして、英語カリキュラム関連の課題解決のための英語部会に参加した。

② 情報委員会

情報委員会委員として会議に参加した。

3 次年度以降の計画・抱負

2024 年度は、もう少し研究に注力したい。2022 年度の後期に引き続き、2023 年度前期も、学期が始まってから突然の代講をせねばならず、毎週末中準備に時間をとられた上に、研究日にも授業のために出講せねばならず、前期はほぼ全く研究ができなかった。来年度は計画通りに個人の研究に力を注ぎたい。特に、TESOL Convention で知見を深めた AI 等の科学技術を活用した語学学習やオンラインを利用した英語教育について、研究を進めることを目指したい。